

## 第95回教育研究評議会議事要録

日 時 平成24年9月10日（月）14時00分開会～15時05分閉会

場 所 本部5階大会議室

欠席者 大庭評議員

陪席者 山崎監事

議事に先立ち、両角理事から9月1日付け人事異動に伴う新任の課長の紹介があった。  
続いて、第94回教育研究評議会の議事要録が承認された。

### 議題1. 名誉教授の称号授与について

議長から、平成24年9月30日付けで退職予定の総合理工学研究科横田修一郎教授に対し、本学名誉教授称号授与規則第2条第1号の規定に基づき、平成24年10月1日付けで名誉教授の称号を授与することについて提案があり、続いて、服部総合理工学研究科長から資料に基づき推薦理由等の説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

### 議題2. 生涯学習教育研究センター長の選考について

議長から、現生涯学習教育研究センター長の任期が平成24年9月30日で満了することに伴う次期センター長の選考について提案があり、続いて、資料に基づき生涯学習教育研究センターから多々納道子 教育学部教授を次期センター長候補者として選考した旨の申し出があったことの説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

### 議題3. 教員の休職の延長について

議長から、現在病気休職中の法文学部教員について、本人の同意が得られたため休職期間を延長することについて提案があり、続いて、武田法文学部長から資料に基づき、これまでの経過及び延長後の休職期間について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 議題4. 島根県警察との包括的連携・協力に関する協定の締結について

議長から、本学と島根県警察との包括的連携・協力に関する協定の締結について提案があり、続いて、竹内理事から資料に基づき、協定の目的、締結に至った経緯、協定書（案）及び今後連携・協力が想定される事業等について説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、武田法文学部長から、本協定に基づき「社会人力養成科目」の一部を島根県警察が担当することについては、学生にとって真に必要なのか慎重に検討を行って欲しいとの要望があった。

### 報告事項

報告事項2. 学長から資料に基づき、来年3月に開催する古代出雲文化フォーラムを継続的な教育研究に繋げるための方策として、古代から近代までの出雲文化を研究対象とする「出雲文化学際研究センター（仮称）」の設置構想やそこでの研究成果を本学独自の教育及び生涯学習プログラムとして学内外に発信する講義クラスター「出雲文化学（仮称）」の立ち上げ構想について説明があり、これら事業の検討組織として新たに「出雲文化研究事業検討委員会」を設置することについて報告があった。

報告事項 3. 両角理事から資料に基づき、国立大学法人運営費交付金の臨時的措置について報告があり、不急のものについてはその執行を先送りしていただくよう協力依頼があった。

報告事項 4. 竹内理事から、7月9日開催の国際交流センター会議で承認された、上海交通大学医学院（中国）との交流協定の終結について報告があった。

報告事項 5. 肥後理事から資料に基づき、9月28日に開催する大学と企業の懇談会について、当日のスケジュール等の報告があった。

報告事項 6. 塩飽理事から資料に基づき、10月6日に松江キャンパスで、10月13日に出雲キャンパスでそれぞれ開催するホームカミングデーについて報告があった。

報告事項 7. その他

(1) 塩飽理事から資料に基づき、平成24年度計画に係る中間取りまとめについて、今後の作業スケジュール等の説明があり、併せて、「PDCA」サイクルに則した内容での作成について依頼があった。

(2) 両角理事から、平成25年度概算要求の文部科学省原案について、9月7日に文部科学省から本学分について通知があったこと及びその内容については来月の本評議会で報告する旨説明があった。

(3) 田籠附属図書館長から、附属図書館本館改修工事に伴う仮設図書館を9月10日に開館し、閲覧・貸出業務を開始した旨報告があった。

最後に、9月末をもって退職する横田評議員及び安藤医学部事務部長から挨拶があった。